

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成25年4月18日(2013.4.18)

【公開番号】特開2012-97804(P2012-97804A)

【公開日】平成24年5月24日(2012.5.24)

【年通号数】公開・登録公報2012-020

【出願番号】特願2010-245373(P2010-245373)

【国際特許分類】

F 16 H 63/34 (2006.01)

B 60 T 1/06 (2006.01)

F 16 H 61/28 (2006.01)

【F I】

F 16 H	63/34	
B 60 T	1/06	G
F 16 H	61/28	

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月6日(2013.3.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0047

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0047】

ブラシモータMの出力軸28には、ウォーム29が固着されている。ウォーム29は、ウォームホイール30と噛合し、ブラシモータMの回転をウォームホイール30に伝達する。ウォームホイール30は、ベースプレート21に設けた第1支持軸31に回転可能に支持され、ウォーム29(出力軸28)の回転によって、第1支持軸31の中心軸線を回転中心として回転する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0048

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0048】

第1支持軸31には、平歯車よりなる小歯車32がウォームホイール30と一体回転するように、回転可能に支持されている。小歯車32は、ウォームホイール30と連結固定され、ウォーム29(出力軸28)の回転によって、第1支持軸31の中心軸線を回転中心としてウォームホイール30とともに一体回転する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0095

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0095】

この位置決め板5の反時計回り方向の回動によって、パークロッド9及び制御カム10がロックポール3側に移動し、ロックポール3の係止爪3aは、アンロック位置からロック位置に案内される。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0096

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0096】

また、位置決め板5の反時計回り方向の回動によって、位置決めスプリングSP2のローラRがアンロック保持凹部12から外れロック保持凹部11に向かって外周面5aを摺接していく。さらに、ECU55は、回転検出器54からの検出信号に基づいて、ローラRと位置決め板5の外周面5aとの摺接位置の検出を開始する。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0098

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0098】

このとき、駆動歯車33と従動レバー48は、図6(c)に示すように、嵌合口36の第1側面36aが係合突起49に係合しているだけの状態で直接連結されない。そのため、ローラRが外周面5aにかかる位置決めスプリングSP2の弾性力の反時計回り方向の分力にて位置決め板5を単独で反時計回り方向に回動させる。この位置決め板5の単独で反時計回り方向への回動によって、従動レバー48は時計回り方向に回動する。